

学校教育目標	～学びあい 高めあい まちとともにあゆむ ひぐみっ子～ (知) 課題解決に向けて粘り強く取り組み、自分の考えを表現できる子を育てます。 (徳) いろいろな人と豊かにかかわり、自分と同じように相手を尊重する心や態度を育てます。 (体) 自ら進んで運動したり、健康的な生活を実践したりする態度を育てます。 (公) 地域に学び、地域に働きかけながら、地域に愛着がもてる子を育てます。 (開) 地域の人々と積極的に関わり、コミュニケーションを通して視野を広げられる子を育てます。			
	創立 47 周年 児童生徒数: 430 人	学校長 丹羽 正昇 主な関係校: 戸塚中学校、戸塚小学校、矢部小学校	副校長 田邊訓志	2 学期制 一般学級: 12 個別支援学級: 4

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	戸塚中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○情報を活用する力 ○言語能力 ○自己肯定感 ○思いやりの心	戸塚中学校 東汲沢小学校 戸塚小学校 矢部小学校	自ら学び、人とのかかわりを通して、自分らしく心豊かに生きていく子。 ・小中合同授業研究会や児童生徒交流、地域交流、あいさつ運動等を通して、戸塚中学校ブロックで育てたい資質・能力を明確にして教育活動を展開する。 〈戸塚中学校ブロックで育てたい資質・能力〉 「伝え合い、高め合う力」「自己肯定感・自己有用感」「相手を思いやり、共に生きていく力」

<b>中期取組目標</b> ○学校教育目標実現のために、子ども自らが学びをデザインする学校づくりをめざします。 ・自ら進んで問題を発見し、仲間と共に課題を解決しながら、自分の考えや思いを表現できるように学力の向上を図ります。 ・一人ひとりの子どもが安心して安全に過ごすことができるように教育環境づくりに努めます。 ・小中一貫教育推進ブロックや幼稚園・保育園との連携を継続し、家庭・地域に開かれた学校づくりに努めます。 ・家庭・地域と連携しながら地域の教育力を活用するとともに、教職員が互いに啓発し、資質の向上をめざします。
--

重点取組分野	具体的取組
<b>知 学ぶ力の向上</b> 担当 研究推進PJ、GIGAPJ	①自ら問題を発見し、解決していく過程の中で、様々な情報源の中から、自分の目的に合わせて情報を選択し活用する能力の育成を図る。②学習者用デジタルコンテンツ教科の研究を進め、具体的に教科指導への効果をまとめ、授業改善を進める。特に、一人一台端末の効果を測りたい。
<b>徳 道徳教育の推進</b> 担当 支援指導委員会	① 学習の総合化を図り、児童が自分事として多面的・多角的に考え、確かな価値把握と深いふり返りができる道徳科の授業を実践する。② ぐみの実活動やペア学年での交流を充実させ、学習、給食や遊びでの交流を通して異学年のかかわりを深める。また、上学年が下学年をやさしく思いやる心情やリーダーシップを養う。
<b>体 体力の向上</b> 担当 体育部、保健部	① 体力テストの結果をもとに児童の実態に応じた運動能力の向上をめざす。② 学校保健委員会では、体力アップについて取り上げ、体力アップのための遊びを子どもたちが考え、バランス感覚を養う運動を、専門家に指導を仰ぐ。③ 歯科衛生士や歯科校医、家庭と連携し、歯科保健教育を実施する。
<b>公 地域に貢献する子ども</b> 担当 地域連携推進PJ	① 地域を自分の故郷であると認識し、発達段階に合わせて地域に貢献する活動を通して、コミュニケーション力、自己表現力、自己肯定感の向上を図る。② まちの人との関わりや、まちづくりへの参加を積極的に行い、まちへの帰属意識を高める。
<b>いじめへの対応</b> 担当 支援指導委員会	① いじめを起こさないために、思いやりの心や、善悪を正しく判断し、自分から友達や教師に発信できる児童を育てる。(いじめる側、観衆、傍観者をなくす)② 日常の観察や情報交換、アンケートを行い、職員によるいじめの早期発見と対応につなげる。③ いじめが発生した場合は、迅速、適確、きめ細かに事実の確認、指導支援を行う。
<b>人材育成・組織運営(働き方)</b> 担当 教務部	①メンター研究会を定期的に関き、ミドルリーダーが講師となり研究を深める。また、全職員参加の研究会も複数回設ける。②主幹教諭が各組織のリーダーとして、運営を推進するとともに、人材育成を図る。③プロジェクト型組織の効果測定を行い、PDCAサイクルの構築を図る。
<b>学習環境の整備</b> 担当 学習環境推進PJ	① 情報活用能力育成のために図書を活用できる場所を校内に設置する。② 児童が学習に集中し、意欲を高められるように教室環境を整える。また、特別教室や教具室の教材教具を整理し、教員が指導に集中できる環境をつくる。③ 子どもも職員も使いたいものを使うときに探す必要のないような環境を整える。
<b>地域との連携</b> 担当 地域連携推進PJ	① 学校運営協議会、地域学校協働本部と連携し、日常の学習の中で学校・地域の関係性を充実させていくようにする。② ひぐみ共育くらぶ等と連携し、学習支援を通じて地域の方と交流し、地域のよさや魅力に気付く。
<b>特別支援教育</b> 担当 支援指導委員会	① 配慮が必要な児童について、『個別的教育支援計画』『個別の指導計画』をもとに、情報・意見交換を日常的、定期的に行い、一貫した支援を行う。② 保護者や学校カウンセラーとの連携、療育センターや特別支援教育総合センター等の関係諸機関との連携をさらに強化し、一人ひとりのニーズに応じた支援をする。
<b>安全教育</b> 担当 学習環境推進PJ 地域連携推進PJ	① 安全点検及び学習環境に関する要望を定着させ、危険箇所の点検を確実にを行う。② 防災教育や地域防災の資料、また有事の際の情報として使用できる学校内の防災マップを作成する。③ 危機管理マニュアルに基づいて全職員で対応できるよう計画的・実践的な避難訓練(防災・防犯・保健安全)を実施する。自分の命は自分で守れるよう「いかにおすし」について繰り返し指導する。